

様式 C - 7 - 1

平成 20 年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 研究期間 平成 19 年度 ~ 平成 20 年度
5. 課題番号 1 9 7 0 0 1 2 6
6. 研究課題名 動画閲覧行動からの知識抽出による閲覧スタイルの共有・編集環境の構築

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
8 0 4 2 1 9 9 9	リガナ タカシマ, アキオ 高嶋, 章雄	コンピュータサイエンス学部	助教

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	リガナ		

9. 研究実績の概要(国立情報学研究所でデータベース化するため、600字~800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字~800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

本研究課題では動画閲覧スタイルの共有・編集が可能な環境の構築を目指し、具体的には以下の2点を目的とした。
 (a)ユーザによる動画閲覧操作と、動画の特徴とを関連付けるための理論構築
 (b)蓄積された動画閲覧スタイルを新たな動画閲覧時に適用するための方法論の確立

前年度までに行った(a)の理論構築に基づき、(b)の方法論を確立させ、特に個人に特化したプロファイルの概念を取り入れることで、多岐にわたる動画閲覧スタイルの共有を可能とした。

具体的には、動画閲覧時の操作の重要性(Score of Importance)を定義するManipulation Profile、動画閲覧操作と動画像のlow-levelな特徴量とを関連付けるViewing Profile、動画閲覧スタイルを組み合わせる際のコンフリクトを回避するためのComposition Profileを提案した。

作成したシステム、Video Viewing Experience Reproducerを利用した評価実験において、(1) 動画閲覧スタイルの再利用を、人間が自分の閲覧スタイルを再現するのと同程度の精度で再現可能であること、(2) 動画閲覧スタイルの組み合わせにおける利点と欠点、とを明らかにした。

成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4 判縦長横書 1 枚)を添付すること。

10. キーワード

- (1) 動画閲覧スタイル (2) Active Watching (3) 知識抽出
- (4) _____ (5) _____ (6) _____
- (7) _____ (8) _____ (裏面に続く)

11. 研究発表（平成20年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（1）件

著者名		論文標題			
高嶋章雄, 田中謙		習慣的な動画閲覧行動の再利用による動画閲覧経験の拡張			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
情報処理学会論文誌「21世紀の情報環境」特集号	有	Vol.49 No.7	2008	2589-2597	

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	

〔学会発表〕 計（0）件

発表者名		発表標題		
学会等名	発表年月日	発表場所		

〔図書〕 計（2）件

著者名		出版社		
Akio Takashima, Yuzuru Tanaka		IN-TECH		
書名		発行年	総ページ数	
Sharing and Composing Video Viewing Experience, A chapter in "Human-Computer Interaction", ISBN 978-953-7619-26-8		2009	(発行確定)	

著者名		出版社		
Akio Takashima		IGI Global		
書名		発行年	総ページ数	
Enhancing Video Viewing Experience, A chapter in "PISA (Perspectives of Intelligent Systems' Assistance) Book"		2009	(発行確定)	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--